

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025年3月10日第I版)

承認番号	24188
課題名	旭川医科大学病院救命救急センターにおける急変事例の分析—早期警戒スコア National Early Warning Score (NEWS) を使用して—
研究期間	西暦 2025年4月25日(実施許可日) ~2026年3月31日
研究の対象	2024年4月1日~2025年3月31日に当院救命救急センターに入院後、心停止し胸骨圧迫された患者さん、または、気管挿管された患者さん、またはICU入室となった患者さん
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報(詳細：年齢、性別、疾患、転機、呼吸数、SpO2、酸素投与の有無、体温、収縮期血圧、心拍数、意識状態)
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	本研究では、当院救命救急センターにおける急変事例を早期警戒スコア(NEWS)でスコアリングし、後ろ向き観察研究を行うことで、急変する患者さんの特徴を分析することを目的としています。研究の結果、早期警戒スコア(NEWS)での客観的なアセスメントが確立することで、入院する患者さんの重症度を適切に判断し、入院環境を適切に整えられるようにすることで、急変の回避に繋がる可能性があります。
研究の方法	当院救命救急センターで急変した患者さんの入院時の情報を後ろ向きに収集し、NEWSでスコアリングします。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：看護部 松浦可奈 所在地：旭川医科大学病院 救命救急センター 連絡先：0166-65-2111</p>